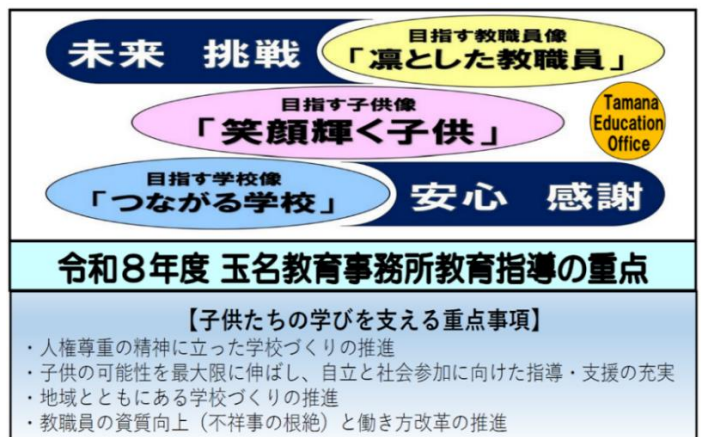


玉名教育事務所教育指導の重点（ロゴ）について

「令和8年度玉名教育事務所教育指導の重点」では【子供たちの学びを支える重点事項】の配置を変えました。右図にあるとおり、【子供たちの学びを支える重点事項】を上部に配置することで、その重点事項をより意識していただきたいということがねらいです。

スローガンについては、昨年同様「未来・挑戦・安心・感謝」とし、目指す3つの姿を「笑顔輝く子供」「凛とした職員」「つながる学校」として、未来を創る担い手となる子供を真ん中に据えています。

管内すべての小・中学校が「チーム玉名」としてともにつながり支え合いながら成長し、未来を担う「笑顔」輝く子供たちを育んでいきたいと思いを。



37名の初任者とともに



今年度37名（教諭31名、養護教諭2名、事務職員4名）の初任者の先生方が、管内に配属されました。5月28日（木）に実施しました「管内第1回初任者研修」では、講話や演習等を通して全員が主体的に学びを深めておられました。これからも同期のつながりを大切にし、お互いに相談したり助け合ったりしながら充実した1年間を過ごしていただきたいと思いを。初任者として歩みだした先生方に「玉名」の地で教師として成長していただけるよう、教育事務所としましても支援して参ります。

（写真は、管内第1回初任者研修に参加された、教諭31名の先生方です。）

～ 編集つれづれ ～

令和7年7月6日に、日本陸上競技選手権大会女子100mハードル走が行われた。決勝では、数人がほぼ同着でゴールテープを切った。一度は、田中佑美選手が1位と電光掲示板に表示されたが、その後、1位の表示が中島ひとみ選手に変わった。その直後、表示が消えて、公式結果待ちになった。数秒前までライバルだった8人は、公式結果が表示されるまで、一箇所に集まって座って待った。笑顔で、充実感に満ちた表情で、お互いを称えながら。そして、田中選手が1位と表示されると、8人全員で抱き合い、田中選手の優勝を祝福するとともに、お互いの健闘を称え合っていた。その瞬間から、私の趣味は、「スポーツ観戦かな？」から「スポーツ観戦です」に変わった。